

2015年10月26日～28日(第19～24回)
2015年度JLA中堅職員ステップアップ研修(2)
領域:図書館経営

図書館サービス計画

図書館サービス計画の立案・策定について

大石 豊(千葉県立西部図書館)
認定司書番号1085

1

図書館サービス計画の趣旨

- 図書館の存在理由、必要性を示す。
図書館がないと、支障があること、困ることは何か?
- 図書館の必要性、支持、理解を説得力を持って広げるために。
- 法的根拠、政策動向、実証的な資料、数量的な資料などの客観的な理由や根拠に立った考え方により説得力を持たせる。
- 図書館を取り巻く地域の諸条件の把握し、住民本位・サービス本位の図書館へ

2

公共図書館・移動図書館を利用しなかった理由

- ・図書館に行く必要性を感じない、興味が無い: 35.7%
- ・本や雑誌は購入する: 26.5%
- ・余暇がない: 19.3%
- ・図書館が近くにない: 16.8%

「図書館利用者の情報行動の傾向及び図書館に関する意識調査」(国立国会図書館関西館図書館協力課 国立国会図書館2015-03-31) 集計レポート Q25 から

3

図書館の設置及び運営上の望ましい基準

文部科学省ホームページ 図書館の振興
図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年12月)に関する関係書類について
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/001/_icsFiles/afieldfile/2013/01/31/1330295.pdf
活用と普及、取組事例の共有
○公立図書館の在るべき姿がバランスよくまとまり、図書館運営を進めやすくなった。図書館サービスの質の向上

4

公立図書館の基本的役割

(望ましい基準)

- 知識基盤社会における知識・情報の重要性を踏まえ
- 資料(電磁的記録を含む。以下同じ。)や情報の提供等の利用者及び住民に対する直接的なサービスの実施や
- 読書活動の振興を担う機関として、
- また、地域の情報拠点として、
- 利用者及び住民の要望や社会の要請に応え、
- 地域の実情に即した運営に努めるものとする。

5

図書館の管理運営(望ましい基準)

- ・基本的運営方針: 設置の目的、社会の変化・地域の実情
図書館サービスその他図書館の運営の指標・目標、事業計画、利用者・住民の要望、社会の要請
- ・図書館サービスその他図書館の運営の状況(目標、事業計画の達成状況等)の点検・評価等
- ・図書館協議会の活用その他の方法、評価
- ・図書館の運営の改善
- ・点検・評価、運営の改善措置の内容の公表

6

サービス計画:「プランニングプロセス」

- 米国の公共図書館協会が、全国基準に代わって導入(1970~80年代)
- 「公共図書館の個々のコミュニティのニーズを優先しかつ柔軟なサービスを提供するために、図書館員と住民が一体となって、目標を定め、調査によりデータを収集しながら計画、実施、評価のサイクルを繰り返していくもの」

(『図書館情報学用語辞典』第4版 「サービス計画」p85)

7

行財政改革、地域主権改革

- 自治体経営、首長、財政状況、行政のスリム化
- 時代の要請と社会の変化に対応したサービス、ICT(情報通信技術)
- 法規の整備、財源、意識改革、マニフェスト
- 地域のことは地域に住む住民が責任を持って決めることのできる活気に満ちた地域社会をつくっていくことを目指す。
- 財政運営、税制、経済の自立、地産地消

8

公の施設

- 公立図書館は、公の施設として住民が利用する施設であり、住民の意思(希望)に裏打ちされていると、説得力のある図書館サービスができる。図書館サービスの質的向上をめざし、社会の変化や住民のニーズを把握して図書館サービス計画を企画・立案するとともに、サービスを実施して評価するサイクルにおいて司書が力量を発揮することが大切。

9

自治体の施策の優先順位

- 住民の意思が自治体の長の施策に反映されれば、他の事業に対して、図書館事業についての優先順位を変えることは可能となる。
- そのためにも、図書館の必要性、支持、理解を説得力を持って広げることが必要。

10

親組織である教育委員会への図書館の理解

- 図書館の主管課(教育委員会生涯学習課、社会教育等関係課)の図書館行政担当の立場からも必要とするようなこれからの図書館の運営やサービスの計画を作成する。
- 行政支援サービスや、自治体施策についての理解を深め、住民が検討するための資料を提供し、地域づくりに役立つ図書館活動は、親組織の図書館理解につながる。

11

図書館サービス計画

ステップごとにまとめていけばよい。

- ★①自治体と図書館の把握
- ②図書館の現状・課題の把握と分析、課題解決策の検討
- ③図書館のめざすもの
- ④サービス計画(年次)

12

〇〇図書館サービス計画(シート1 自治体)

地域や自治体をよく知る

1 地理的特徴、歴史的特徴

①地理的特徴

当該自治体の地理的特徴の概要を簡潔に記入します。

②歴史的特徴

当該自治体の歴史的特徴の概要を簡潔に記入します。

13

2 人口構造

①人口構成

年齢別人口構成を全国と比較します。

②高齢化率

総人口に占める65歳以上人口の割合

③将来人口

参考:「日本の地域別将来人口」、高齢化率も

④特徴(例:全国、近隣自治体、同規模自治体等との比較)

少子高齢社会の状況を見ます。

14

選択する未来

- 未来への選択ー人口急減・超高齢社会を超えて、日本発 成長・発展モデルを構築 ー(平成26年11月経済財政諮問会議 専門調査会「選択する未来」委員会)

<http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/future/shiryou.html>

- ・50年後ー1億人程度の安定した人口構造
- ・50年後ー実質GDP成長率1.5~2%維持
- ・東京ー極集中の反転、地域の特色を活かした豊かな成長・発展

15

基盤となるのは人材育成:次世代を産み育て、イノベーションを創出し、地域社会を支えるのは「人」

■ 人口

- ・人口急減・超高齢化の克服が最重要の課題
- ・希望通りに結婚、出産、子育てできる環境の整備

■ 経済

- ・人口減少、高齢化、低成長を乗り越えた日本発の世界に先駆ける成長・発展モデルの構築
- ・イノベーションにより成長・発展を持続する経済社会

■ 地域社会

- ・東京と地方が補完・交流し、多様性に富んだ社会
- ・集約・活性化した地域のまちづくり

16

3 産業構造

①産業3分類別就業者の割合

国勢調査

『地域経済総覧』

市区別データに国勢調査の産業別就業人口構成比

第1次	第2次	第3次
業	業	業

②特徴

例:全国、近隣自治体、同規模自治体との比較

17

4 生活

①労働力人口

国勢調査、『地域経済総覧』

市区別データに国勢調査の労働力人口

②その他(例:昼夜人口[通勤]、交通)

国勢調査、『地域経済総覧』

市区別データに国勢調査の昼間人口、昼夜間人口比率

- *住民ひとり一人がまちでどのように暮らしているのか?通勤、余暇なども

18

5 財政

①財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

②予算(千円、予算額又は決算額)

一般会計各目	教育費	図書館費	資料費	図書館費の一般会計予算に占める割合

③特徴

19

6 自治体施策

①総合計画、重要施策や取組の特徴

自治体のホームページを参照

自治体の政策

* 総合計画(県、市町村)、施政方針等

* 統計資料

* 重点施策

20

②公共施設等総合管理計画、それに相当するもの(名称、施設関係の特徴)
公共施設等総合管理計画の策定要請 (平成26年4月22日 総務省)

http://www.soumu.go.jp/main_content/000286228.pdf

- ・公共施設等の老朽化対策:大きな課題
- ・地方公共団体の厳しい財政状況
- ・今後の人口減少等 → 公共施設等の利用需要の変化予想
- ・公共施設等の全体の状況を把握
- ・長期的な視点から更新・統廃合・長寿命化などの計画的実施
- ・財政負担の軽減・平準化
- ・公共施設等の最適な配置の実現
- ・PPP PFIの活用

21

インフラの老朽化と図書館

- 根本祐二「インフラ老朽化問題の深刻さと図書館への示唆」

『現代の図書館』vol.51,no.2(2013.6)p61-67

- ・危機回避、更新投資・財源、人口減少とインフラの利用減
- ・全域:広域化、校区:多機能化、住区:ソフト化
- ・自治体の公共施設マネジメント 計画、事前協議
- ・「財政負担が少なくても質の高いスマートな社会資本を持つ知恵」
- ・省インフラ(コンパクト化、分散化、デリバリー化)、
- ・図書館の建設・維持管理・運営のコストと市民の理解

- 根本祐二『朽ちるインフラ:忍び寄るもうひとつの危機』

(日本経済新聞出版社 2011.5)

社会資本の更新投資、自治体の老朽化対策

22

7 教育文化

①学校数、生涯学習施設数

②住民の学習意識(市民意識調査等)

自治体が調査した市民意識調査のようなものがあれば、それを使います。もし適当な既存資料がなければ、印象で記入します。

8 その他

- ①シンボル、キャラクター、ゆかりの人物や産品など特徴のあるもの

23

教育基本法

(教育の目的)

第一条 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

24

(生涯学習の理念)

第三条 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

25

- ひとり一人の個性が開花し、自己実現することにより、その結果として、社会の形成者として社会に貢献することになる。
- 成長の可能性を持つひとり一人の生涯と生活を想起したとき、図書館は、人間の発達段階においてどのような支援ができるのか？
- 例：生涯にわたる豊かな読書生活、生涯学習、さまざまな課題解決支援、個人の創造性の開発、シニアサービス(生涯現役の活躍)

26

- ・自治体で課題となっているものは何か？
まちづくり、地域支援、地域連携(連携相手のメリットを勘案すること)、自治体形成への参画、市民の自立を支援
- ・自治体が住民との協働する中で自治体施策を考えるために必要な資料や情報は何か？

27

- エンベテッド・ライブラリアン
- (embedded librarians) embedded :組み込み
- 「選び取られた情報資料に取り囲まれた図書館に陣取って、図書館にやってくる個々の利用者に対して単発的なサービスを提供するという受動的な図書館のあり方を捨てて、ライブラリアンが利用者コミュニティのなかに積極的に飛び込み、一緒になって考え、それぞれの図書館の設置母体組織の使命を効果的・効率的に果たそうとするライブラリアン」 山本順一著『図書館概論』(ミネルヴァ書房 2015.5 講座・図書館情報学2) p216-224のうちp218 から

28

図書館資源の視点でとらえてみよう

これからの図書館像
http://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286184/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/18/04/06032701/009.pdf

図書館の持つ特徴 (「これからの図書館像」から作成)

- 図書館が本来持っている資源
あらゆる主題・分野にわたる資料
資料や情報の検索システム
司書を含む職員
閲覧席、集会室などのスペース等

29

- 図書館の能力、情報検索能力、情報を整理・体系化して提供する力、集客力等
幼児から高齢者までの全ての人々への公開
- 図書館の付加的な資源
立地条件、土・日曜日・夜間等にわたる開館日・開館時間、名称、雰囲気、地域における認知度等

30

〇〇図書館サービス計画(シート2 図書館)

1 図書館の概要

①沿革の概要(運営上特徴的なこと)

数字ではつかみにくいことや、現在の運営に影響を与えているような沿革、あるいは、他の図書館とは異なる特徴的なことを記入します。ここでは、策定するサービス計画に関したことだけでなく、全般的な内容を記述します。

②現在の概要

図書館体制、職員、蔵書、利用など

31

2 〇〇図書館の経年変化

図書館統計、『日本の図書館』

①経年変化表

項目	職員(専任)	うち司書	非常勤臨時 (委託派遣)	蔵書冊数	受入図書 冊数(購入)	雑誌購入 種数	個人貸出数	予約件数	図書販売	資料費	図書費
平成22年度											
平成23年度											
平成24年度											
平成25年度											
平成26年度											

②特徴

32

職員(専任)

専任職員数、『日本の図書館』では、職員の専任数を記載してください。

うち司書

専任職員数のうち司書数、『日本の図書館』では、職員の「うち司書司書補」を記載してください。なお、記載欄が限られ、司書補数は少なく省略しました。

非常勤臨時(委託派遣)

非常勤臨時数を記載してください。また、()に委託派遣数を記載してください。『日本の図書館』では、非常勤臨時(委託派遣)のところをそのまま記載してください。

受入図書冊数(購入)

受入図書冊数の「うち購入」を記載してください。『日本の図書館』では、受入図書冊数欄の「うち購入」部分を記載してください。

33

3 類似自治体の図書館との比較

参考: 図書館統計又は『日本の図書館』の人口、サービス水準等

①比較表

事項	モデル館の〇〇市	△△市	▽▽市	□□市
人口				
職員(専任)				
うち司書				
非常勤臨時(委託派遣)				
蔵書冊数				
受入図書冊数(購入)				
雑誌購入種数				
個人貸出数				
予約件数				
図書販売				
資料費				
図書費				

人口規模がほぼ同じような自治体や、産業構造などが類似している自治体で、当該自治体よりも図書館のサービスレベルが高いと思われるところを3自治体選びます。

②特徴

34

4 計画、評価、指針

①図書館サービス計画・整備計画、答申、在り方、図書館評価、利用者アンケート等調査 (名称と重要な課題等を簡潔に記載)

②「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」から

◇比較的良好達成できている項目

◆これからの課題と思われる重要な項目

35

③課題解決支援サービス

地域の課題に対応したサービスの取組の状況

- ビジネス情報
- 健康・医療情報
- 法律情報
- 行政支援
- 子育て等

36

- 地方自治, 地域づくり, まちづくり, 地域支援, 地域課題解決
- まちづくり 地域振興 地域の課題解決, 資料・情報提供
- 行政支援, 学校教育支援, ビジネス(地場産業)支援, 子育て支援,
- 観光政策

37

地域の課題解決に対応したサービス課題解決支援サービスの実施(望ましい基準)

就職・転職, 企業, 職業能力開発, 日常の仕事等, 子育て, 教育, 若者の自立支援, 健康・医療, 福祉, 法律・司法手続等, 地方公共団体の政策決定, 行政事務の執行・改善及びこれらに関する理解

→考える素材の提供, 調べもの

→連携(機関, 団体, ひと)

→地域の活性化に貢献

38

- 公立図書館における課題解決支援サービスに関する実態調査報告書 2014年度 (全国公共図書館協議会編 全国公共図書館協議会 東京 2015.3)
- <http://www.library.metro.tokyo.jp/zenkoutou/tabid/4053/Default.aspx>
- 課題解決支援サービス全般
- ビジネス情報
- 健康・医療情報
- 法律情報
- 行政支援

39

地域創成

- まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)
- 地域特性に応じた課題解決
- 日常生活・社会生活を営む基盤サービス
- 結婚、出産・育児の希望を持てる社会
- 仕事と生活の調和を図れる環境整備
- 地域の特性を生かした創業促進、事業活動の活性化、魅力ある就業機会の創出

40

- 交付金:4,200億円
- 地域の創生・活性化のために図書館が役立つ施策
- ビジネス支援、創業支援、雇用創出、地元生産物支援、地域おこし、小さな拠点形成(多世代交流・多機能型交流拠点)と生涯学習の活用、子育て支援、高齢者支援、健康長寿、市民活動支援、地域と学校との連携

41

④利用者に対応したサービスの概況

- 児童・青少年
- 高齢者
- 障害者
- 乳幼児とその保護者
- 外国人等図書館への来館が困難な者

⑤子どもの読書活動推進計画の取組

42

読書活動の振興等

第2期教育振興基本計画(平成25年6月14日閣議決定)

http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/detail/1336379.htm

4つの基本的方向性

- 社会を生き抜く力の養成～多様で変化の激しい社会での個人の自立と協働～
- 未来への飛躍を実現する人材の養成～変化や新たな価値を主導・創造し、社会の各分野を牽引していく人材～
- 学びのセーフティネットの構築～誰もがアクセスできる多様な学習機会を～
- 絆づくりと活力あるコミュニティの形成～社会が人を育み、人が社会をつくる好循環～

43

- 現代的・社会的な課題に対応した学習等の推進:学校、公民館、図書館
- 子どもの読書活動の推進:公共図書館と学校の連携の推進
- 若者の自律・社会参画支援などの取組:地域の公民館、図書館等
- 家庭教育支援:公民館、図書館等 学習機会の提供
- 学校図書館図書整備5か年計画

44

子ども読書活動推進計画

文部科学省ホームページ 子どもの読書活動推進ホームページ

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/

「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/05/1335078.htm 概ね5年間

- ・市町村計画の策定の割合:市:100%に、町村:70%以上に(平成29年度までに)
- ・不読率の改善:1か月に1冊も本を読まない子どもの割合を10年間で半減
- ・子どもの読書活動の推進のための図書館の機能強化

45

- 肝心なのは人
- 児童図書館員 重要な機能を担う“人”の問題
松岡孝子著『子どもと本』(岩波書店 2015 岩波新書(新赤版)1533) p236-242
- すべての子どもに開かれた図書館
- 「いちばん読書を必要とする小学生、中学生、高校生が自由に利用できるのが学校図書館」
- 肥田美代子著『「本」と生きる』(ポプラ社 2014.12 ポプラ新書048) p194-197

46

「人の、地域の、日本の未来を育てる読書環境の実現のために」

(平成23年9月 国民の読書推進に関する協力者会議)

司書や司書教諭等の読書に関する専門的職員を充実する

読書環境プラン,読書シビルミニマム

例 中学校区を単位、学校図書館や図書館、公民館、書店など

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/09/_icsFiles/afieldfile/2011/09/02/1310715_1_1.pdf

47

シニア世代と図書館

- 呑海沙織「高齢社会における図書館サービス:サード・エイジと図書館」『図書館雑誌』vol.108,no.5 から
サード・エイジ:自己達成の時期、「生活者・活動者」イメージの傾向が強い高齢者
- 「高齢社会のあるべき姿に関する意識調査報告書」(経済広報センター 2012) <http://www.kkc.or.jp/data/release/00000080-1.pdf>
 - ・高齢者になったときに利用したい施設等 3位「図書館」(75%)
 - ・高齢者になったときに自宅の近くにあった方がよい施設 4位「図書館」(65%)

48

- 『『日本再興戦略』改訂2015—未来への投資・生産性革命—』閣議決定(平成27年6月30日)
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/>
- 国民の「健康寿命」の延伸
- 地域包括ケアシステム
 - ・暮らしの場と保健・医療・福祉をつなぐ
 - ・日本看護協会「看護の将来ビジョン」
- 「まちの保健室」: 図書館で開催

49

外国人(望ましい基準)

- 外国人等に対するサービス
 - ・ 外国語による利用案内の作成・頒布
 - ・ 外国語資料や各国事情に関する資料の整備・提供
- 将来人口の減少, 生産年齢人口の減少,
外国人の増加, 定住化, 留学生, 移民受入

50

- 外国人登録者数(約200万人): 多文化共生まちづくりと地域活性化
- 埼玉県の事例から
埼玉県内在留外国人数: 130,092人(平成26年末)
埼玉県内国籍別在留外国人数
中国(台湾除く)52,495人、韓国・朝鮮17,198人、フィリピン17,147人、
ベトナム7,865人、ブラジル7,390人、ペルー3,769人、タイ2,790人...
- 日本語, 職業, 教育, 育成, 労働, 住宅, 自治体, 防災
- 『多文化サービス入門』(日本図書館協会多文化サービス研究委員会)
- 日本に来た移民に対する配慮 子どもの読書、母語と日本語

51

⑥情報サービスの取組

- テーマ別資料案内
- 国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの参加
- デジタル化資料送信サービスへの参加

52

情報サービス(望ましい基準)

- インターネット等や商用データベース等の活用
- 図書館の利用案内、テーマ別の資料案内、資料検索システムの供用等のサービス
- インターネット等の利用により外部の情報にアクセスできる環境の提供
- 郷土資料及び地方行政資料の電子化

53

レファレンス協同データベース

- レファレンス事例の提供館
- 地域のレファレンス事例
- 高等学校図書館での活用

54

国立国会図書館のデジタル化資料の図書館等への送信

http://www.ndl.go.jp/jp/library/service_digi.html

- 図書館送信の対象資料: 国会図書館の館内限定提供のもので、絶版その他一般に入手困難な資料の中から、出版者や著作権(権)者からの申し出による除外手続き資料を除いたもの。詳細はHP参照
- 閲覧には、図書館の登録利用者であることの確認や利用上の注意が必要。
- 端末は閲覧用(複数台も可)と管理用と2台が必要、それぞれにID,PWあり。
- 複写サービスは図書館送信の複写ができる旨の規定整備が必要。

55

ICT(情報通信技術)の発展と図書館

- スマートフォン、タブレット
- パソコン、インターネットが普及
- 本の検索も便利に
- 電子書籍、新聞のデジタル化
- 対応: モバイルファースト

56

情報機器の所有・利用状況 スマートフォン

「家にあり、自分も利用している」全体: 44.7%
性・年代別

20代男性: 72.3%、20代女性: 82.6%

30代男性: 66.7%、30代女性: 67.6%

40代男性: 59.8%、40代女性: 48.1%

職業別

生徒・学生: 75.3%、被雇用者(パート含む): 60.0%

「図書館利用者の情報行動の傾向及び図書館に関する意識調査」(国立国会図書館関西館図書館協力課 国立国会図書館2015-03-31) 集計レポート Q14.9
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/9111358> オンライン調査による から

57

ランガナタンの図書館学の五法則

人の成長や成熟、自立、発達、自己実現

ランガナタンの図書館学の五法則

人間の成長を支えることが原点

『図書館の歩む道 ランガナタン博士の五法則に学ぶ』

(ランガナタン[著]竹内愨解説 日本図書館協会 2010.4
JLA図書館実践シリーズ15)

『「図書館学の五法則」をめぐる188の視点:『図書館の歩む道』読書会から』(竹内愨編 日本図書館協会 2012.4
JLA図書館実践シリーズ20)

58

図書館学の五法則

- 第一法則: Books are for use. (図書は利用するためのものである。)
- 第二法則: Every reader his or her book. (いずれの人にもすべて、その人の本を。)
- 第三法則: Every book its reader. (いずれの本にもすべて、その読者を。)
- 第四法則: Save the time of the reader. (読者の時間を節約せよ。)
- 第五法則: A library is a growing organism. (図書館は成長する有機体である。)

59

図書館学の五法則の再解釈

E1611 - 時代は変わり順序も変わる:『図書館学の五法則』再解釈の試み (カレントアウェアネス-E No.267 2014.09.25 宮城教育大学附属図書館・吉植庄栄)の引用

新・第二法則: Save the time of the reader.

解釈: Embed library systems and services into users' existing workflows. 図書館システムとサービスを利用者の実際の情報行動に組み込め。

新・第二法則: Every reader his or her book.

解釈: Know your community and its needs. 所属するコミュニティとそのニーズを知れ。

新・第三法則: Books are for use.

解釈: Develop the physical and technical infrastructure needed to deliver physical and digital materials. 紙媒体や電子資料を提供する物理的、技術的なインフラを発展させよ。

新・第四法則: Every book its reader.

解釈: Increase the discoverability, access and use of resources within users' existing workflows. 情報行動の中で資料を発見しやすく、入手しやすく、使いやすくせよ。

第五法則: 現代でも通じるもの、変更も再解釈もない。

60

政府刊行物 民主主義社会を支える

- Informed citizenの形成
国の施策や活動などについて、その判断材料となる情報を十分にもっている、あるいは十分に提供されている国民

高山正也 平野英俊編『図書館情報資源概論』(樹村房 2012 p60)

61

世界最先端IT 国家創造宣言

- 世界最先端IT 国家創造宣言について

(平成27年6月30日閣議決定 変更)

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/kettei/pdf/20150630/siryou1.pdf>

- ・オープンデータの利活用
データカタログサイト「DATA.GO.JP」を本格稼働
各府省庁等からの13,038件のデータセット収録
- ・マイナンバー制度
- ・個人情報保護を図りつつ、パーソナルデータの利活用を推進するための基盤(「個人情報保護法」)

62

オープンデータの取組

- <http://www.data.go.jp/>
- 政府標準利用規約
 - ・ 出典の記載
 - ・ 第三者の権利を侵害しない
 - ・ 法令、条例又は公序良俗に反する利用や国家・国民の安全に脅威を与える利用は禁止
 - ・ 個別法令による利用の制約
- ◆ 米国の著作権法では、国の著作物は著作権法の対象から除外されている。

63

- オープンデータを用いたレファレンスサービス
- オープンデータの公開
- 住民のオープンデータ作成支援(資料の裏付け調べものの支援 例Wikipediaタウン)

参考: CA1825 - オープンデータと図書館 / 大向一輝
<http://current.ndl.go.jp/ca1825>

- NDLオープンデータ・ワークショップ アイデアソン
- <http://lab.ndl.go.jp/cms/?q=opendata2015>

64

⑦連携の状況 例:

- 学校
- 博物館
- 公民館
- 自治体各部署
- 関係行政機関
- 地方議会図書室
- 民間調査研究施設
- 民間団体等〔福祉・介護施設、病院、刑務所、研究所〕

65

連携・協力(望ましい基準)

- ・幅広い連携
図書館相互、国立国会図書館、議会図書室、学校図書館、大学図書館、学校、博物館、公民館、関係行政機関、民間調査研究施設、民間団体等
- ・今後一層の関係強化
- ・重要性が増し、連携の可能性の検討が求められる。
- ・双方の連絡・相談・打合せ、立場・利害の理解、連携・協力できるところの可否を検討、よい関係の構築(敬意・信頼)

66

多様な学習機会の提供(望ましい基準)

- 講座、相談会、資料展示会等主催
関係行政機関、学校、他の社会教育施設、民間の関係団体等と共催
- 利用者・住民の情報活用能力の向上
情報リテラシー、情報の活用能力、資料・情報の選択能力

67

⑧公共施設等総合管理計画(又はそれに相当するもの)の図書館に関する検討や策定の状況

- 〇〇図書館サービス計画(シート1 自治体)
6自治体施策
- ②公共施設等総合管理計画、それに相当するもの(名称、施設関係の特徴)の続き

68

公共施設等総合管理計画と図書館の課題

- 図書館にかかるコスト、住民の利用割合
- 地域館・分館の廃止や、施設の集約化
- 指定管理者、PPPによる管理運営
- 市民ボランティアとの協働
- 移動図書館、無人化、電子書籍の導入
- 課題
- 生涯学習・子ども、高齢者をはじめ身近な図書館利用
- 質の高い図書館サービス、専門的知識や技能の継承
蔵書や利用者対応に精通していれば、的確かつ迅速に対応できる。
- 未利用者への利用促進の広報
- 地域の情報拠点としての課題解決支援サービス

69

イギリスでは、

- 英国の文化・メディア・スポーツ省が公共図書館閉鎖問題に関する報告書を公表
カレントアウェアネス・ポータル(2012年11月7日)引用
<http://current.ndl.go.jp/node/22267>
- 経費削減と地域の図書館サービスのニーズ
- 「包括的で効率的な図書館サービス」を提供する法的義務

70

地域の公共図書館が閉鎖された場合の影響

- 地域の公共図書館が閉鎖された場合の本人や家族への影響
大きな影響がある:15.2%+影響がある:31.4%=46.8%
性・年代別 女性50代:51.9%、女性70代以上:51.4%、
女性30代・40代:50.9%
- 地域の公共図書館が閉鎖された場合の地域にとっての影響
大きな影響がある:15.0%+影響がある:40.6%=55.7%
性・年代別 女性60代:60.8%、女性50代:60.7%、
女性70代:59.5%

「図書館利用者の情報行動の傾向及び図書館に関する意識調査」(国立国会図書館関西館図書館協力課 国立国会図書館2015-03-31) 集計レポート Q32、Q33 から

71

指定管理(望ましい基準)

- 図書館の管理を他の者に行わせる場合
- ・図書館の事業の継続的かつ安定的な実施の確保
- ・事業の水準の維持及び向上
- ・司書及び司書補の確保並びに資質・能力の向上等
- ・当該管理者との緊密な連携

72

指定管理者制度の導入の際の留意点

- 安定した運営が可能な指定期間を検討すべきということ
- 職員に対しても安定的な処遇を確保すること
- 若手の人材養成も含め、長期的視点に立って育成を考えること
- 自治体が指定管理者の業務の履行状況について適切にモニタリングをすることなど
(第174国会 衆議院文部科学委員会 平成22年5月28日 答弁からまとめ)

73

⑨先進事例等参考調査・文献

- テーマ計画関係の様々な資料や情報
- 『図書館実践事例集～人・まち・社会を育む情報拠点を目指して～』
 - 「カレントアウェアネス」
 - インターネット情報
 - 参考文献等

74

図書館実践事例集

人・まち・社会を育む情報拠点を目指して

- 全国各地の図書館の特徴的な取組事例
- 図書館が一層の機能強化に向けたアクションを起こす際の参考
- 連携、様々な利用者へのサービス、課題解決支援、まちづくり、建築・空間づくり、電子図書館、その他
- http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/jirei/index.htm

75

図書館サービス計画

ステップごとにまとめていけばよい。

- ①自治体と図書館の把握
- ★②図書館の現状・課題の把握と分析、課題解決策の検討
- ③図書館のめざすもの
- ④サービス計画(年次)

76

〇〇図書館サービス計画 (シート3 現状と課題、課題解決策)

- 項目
項目は、ひとまとまりにできる程度の内容ごとに記述します。
例えば、レファレンスサービスであれば、「レファレンスサービス」「参考資料(レファレンスツール)整備」「データベース」「パスファインダー」「レファレンス協同データベース」「PR」「職員研修」等の項目が考えられます。

77

- サービス・事業の現状(内容)
ここは「項目」に対してのサービス・事業の現状(内容)を記述します。
例えば、「レファレンス協同データベース」の項目では、「レファレンス事例年3事例、職員1名で作成し、国立国会図書館に年1回提供している。」といった内容になります。

78

■ サービス・事業の課題・問題点

ここは「サービス・事業の現状(内容)」に対しての課題や問題点を記入します。

例えば、レファレンス協同データベースの項目の問題点としては、「レファレンス事例の作成が年3事例では少ない。職員1名では広がり欠ける。年1回の提供では頻度が少ない。課題は、複数の職員でレファレンス事例を作成できていない。レファレンス記録を日常的にまとめる習慣ができていない。」といった内容になります。

ここは現状(内容)に対する評価となる部分です。

現状の課題をどう判断するかをグループで十分討議して下さい。

79

■ 課題解決策(の内容)

ここは先の項目で出された「課題」や「問題点」に対してどのような方向で解決していくのかという内容を記述します。

例えば、「レファレンス協同データベース」の項目では、

「レファレンス事例を年10事例作成し、年2回の提供をめざす。ノウハウを共有するため、マニュアルを作成する。職員1名をレファレンス協同データベースの研修会に参加させる。レファレンス記録用紙を用意し、日頃からよい事例があったときには、記録をまとめる。」といった内容になります。

80

- 日常業務から離れ、図書館を外部の視点から見直し、比べる(自館の成長, 他館)。
- 図書館の現状の分析(統計, 利用者調査・意見, 図書館協議会, 図書館評価など)
『日本の図書館』の統計
- 人口段階別図書館状況一覧で、人口規模が類似する自治体のうち、サービス水準, 職員数, 予算が高いか, 類似する自治体と比較する。

81

- 基準には数値目標はないが、報告書に「目標基準例」が掲載され、貸出密度上位の公立図書館整備状況を記載。
・最新の数値は、
“数字で見る日本の図書館(その71)「貸出密度上位の公立図書館整備状況・2015」について”
『図書館雑誌』2015年5月p314-315収載

82

- 現状の課題への気づきが大切, 洗出し, 分析が改善の基(深く掘れば, 泉が湧く。)
- 長期的な課題, 短期的な課題, 課題解決の方策の検討

83

■ 図書館サービス計画

ステップごとにまとめていけばよい。

- ①自治体と図書館の把握
- ②図書館の現状・課題の把握と分析, 課題解決策の検討
- ★③図書館のめざすもの
- ④サービス計画(年次)

84

〇〇図書館サービス計画 (シート4 目標・方針)

- 1 図書館の基本目標・方針
ミッション
図書館の使命、理念
基本目標、基本方針
- 2 テーマ計画の具体的目標・方針
ビジョン
具体的目標、具体的方針、戦略的目標

85

- 図書館のめざすもの(ミッションやビジョン)の検討の際、現状から頭を切り替え、熱意あふれる理想的な夢や絵を描く(イメージを浮かべる)。

86

図書館のめざすもの

- 竹内慈編・訳『図書館のめざすもの』(新版 日本図書館協会 2014.10)
- ・「アメリカ社会に役立つ図書館の十二か条」所収
(12 ways libraries are good for the country)
- ・私たちの望む図書館の姿を考えるヒント、参考に
- 『米国の図書館事情2007: 2006年度国立国会図書館調査研究報告書』国立国会図書館関西館図書館協力課編 日本図書館協会 2008
<http://current.ndl.go.jp/series/no40>

87

図書館を利用する権利に関する宣言 (アメリカ図書館協会)

- 図書館が生活を変える (山本順一訳)
<http://japan2.usembassy.gov/j/irc/ircj-symposium-ref2014.html>
- ・バーバラK・ストリプリング前会長の講演から
児童生徒学生・成人が学習、成長、夢の達成に図書館を利用。知識を広げ新しい世界に眼を開くことができる。
- ・「図書館を利用する権利に関する宣言
図書館が生活を変える」
山本順一著『図書館概論』(ミネルヴァ書房 2015.5 講座・図書館情報学2)p2-5 から

88

- 図書館は、... (「図書館は」を主語に10項目がある。)
- ・ 個々人に力を与える
- ・ リテラシーの向上と生涯学習を支援する
- ・ 家族のつながりを強化する
- ・ 偉大な平衡装置である
- ・ コミュニティを育成する
- ・ わたしたちの知る権利を守っている

89

- ・ わたしたちのこの国を強化する
- ・ 研究開発と学術を推進する
- ・ わたしたちがお互いをよりよく理解するのを助けている
- ・ わたしたち国民の文化遺産を保存する

90

図書館サービス計画

ステップごとにまとめていけばよい。

- ①自治体と図書館の把握
- ②図書館の現状・課題の把握と分析、課題解決策の検討
- ③図書館のめざすもの
- ★④サービス計画(年次)

91

〇〇図書館サービス計画 (シート5 年次計画)

■ 項目

シート3 現状と課題、課題解決策の項目が、この項目になります。

■ 事業名と事業内容

シート3現状と課題、課題解決策のうち、課題解決策(の内容)に書かれたものを、具体的事業としてここに記入します。

92

- 達成目標や指標
各事業の達成目標や指標を記入します。
- 初年度、2年度、3年度の3年度分を記入します。
- 内容、積算
各事業に関する内容と経費の積算(計算式)を記入します。
例 旅費2,500円×2人=5,000円
- 経費
年度ごとの計算できるよう、数値のみ記入します。
- 備考(補足説明):その項目の補足説明を入れます。

93

- 1 図書館の目的・社会的使命:使命,ビジョン,運営理念,基本目標(基本方針)
- 2 サービス計画の立案(事業項目・内容・量)
- 3 計画の達成目標(達成課題)
- 4 サービス指標の選定,数値目標の設定
- 5 計画の達成に向けたサービスの実施
- 6 評価:数値目標の達成状況等の自己点検・評価,各年度の図書館サービス状況

94

- 図書館業務全体の中での位置づけ(優先度,重要度,図書館経営資源の再配分)
- 図書館の業務・組織の流れ,相互関連(資料の収集・整理・保存・利用)を勘案する。
- 計画は図書館のめざすものを視野に入れ,課題分析に対応した解決策について,優先順位,到達目標,実現可能性等を総合的に勘案する。

95

- 計画は複数案作成し,内容,長所,短所,経費を比較できる提案が柔軟に対応できる。
- 最善の計画案が選ばれなくとも,現案の長所を活かし,長期的視点で実現をめざす。
- 計画の実現に当たり,段階的に構築する。
先進視察,職員の研修→ サービス構築

96



文教予算の編成の視点

- ・ 政策の合法性
- ・ 政策の意義
- ・ 政策の緊急度
- ・ 政策の成熟度
- ・ 要請の強さ

『文教予算の編成』斎藤諦淳著. ぎょうせい, 1990. p38

97

- 
- 図書館をよくしたいという計画中の文章にこもる熱意は、行政や住民に伝わり、共感を広げ、力となる。サービス計画の中核的テーマを煮詰めたキックフレーズの創作。
 - 第三者に対してわかりやすく説得力のある説明ができるよう、筋の通った書き方、用語の意味、図表等の活用、資料の見やすさに留意し、流れるような文章に練りあげる。
 - 読みたい見出し、きらりと光るキーワード

98

- 
- 計画は必ずしもうまくいくとは限らない。うまくいかなかった要因を分析し、より一層よいものとするため、改善の時間が与えられたと考え、次の計画に活かす。
 - 「今なければ、創ればよい。」と考える。
DIY (Do It Yourself) : 自分でやろう
 - 図式や漫画絵の創作による説明はわかりやすい。

99

- 
- 図書館の発展、成長の視点から、各段階や時期に合った計画を描く。
 - 図書館の成長は、物理的なものに限らず、達成過程の苦難を成長の糧ととらえる。
 - 地域住民の必要に真に根ざした図書館サービスや運営は、風雪に耐える。⇒樹の根

100